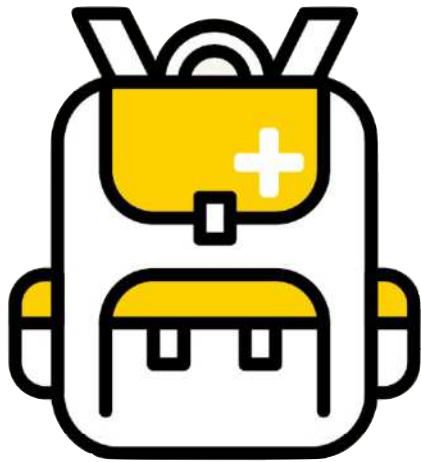




令和7年度 管理職研修 K810 学校事故対応研修

スクールタイムライン

ー事前～事後までの備えー

NPO法人リエラ

リエラの活動

活動目的

普段から支え合える地域を目指して（Re area=リエラ）

法人連絡先

大分県日田市隈2丁目1-9

ホームページ→



被災地支援

令和2年7月豪雨支援



防災活動支援

サバイバルキャンプ



移住定住支援

移住者交流会



ウクライナ人道支援 報告書



能登半島地震6ヶ月 報告書



2023年度 年次報告書

(スクール) タイムライン

タイムライン

災害に対する事前の備えや、大雨・台風により浸水害や洪水、土砂災害などが発生する危険性が高まった時の避難のタイミングなどを、あらかじめ時系列に整理した避難行動計画のこと。

対象の災害

進行型災害を基本としています。

進行型災害



洪水や台風など、発生やその被災状況が一定程度予測できる災害

突発型災害



地震や噴火など、発生の予測が困難な災害

2 大川小学校事件判決

(1) 事件の概要

平成 23 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年東北地方太平洋沖地震」（以下、本件地震）後の津波により，石巻市が設置運営する石巻市立大川小学校において，70 名以上の児童が教職員 10 名とともに死亡した。この死亡した児童のうち 23 名の父母らが，石巻市および宮城県などに対して，国家賠償法 1 条 1 項，3 条 1 項または民法 709 条，715 条 1 項に基づいて損害賠償を請求した。同時に，原告らは石巻市に対して，公法上の在学契約関係に基づく安全配慮義務違反等による債務不履行に基づく損害賠償を請求した。



災害前後の注意義務

安全配慮義務違反の判断基準は、以下の3つが挙げられる。

1) 予見可能性:

会社が従業員の心身の健康を害する事態を予測できたかどうか。

2) 結果回避可能性:

会社が予測できた事態を回避することが可能だったかどうか。

3) 因果関係:

会社が安全配慮義務を怠ったことと、従業員の心身の健康が害されたこととの間に因果関係があるかどうか。

そのときの判断によっては
”事故”に繋がってしまうことも

責任の所在等を判断するのではなく
災害があっても
みんなが安心・安全でいられるよう
知識と備えを学ぶ

事前対策

自然災害/地震・津波

ドラレコ捉えた“3分48秒”
大津波の一部始終

視聴者撮影

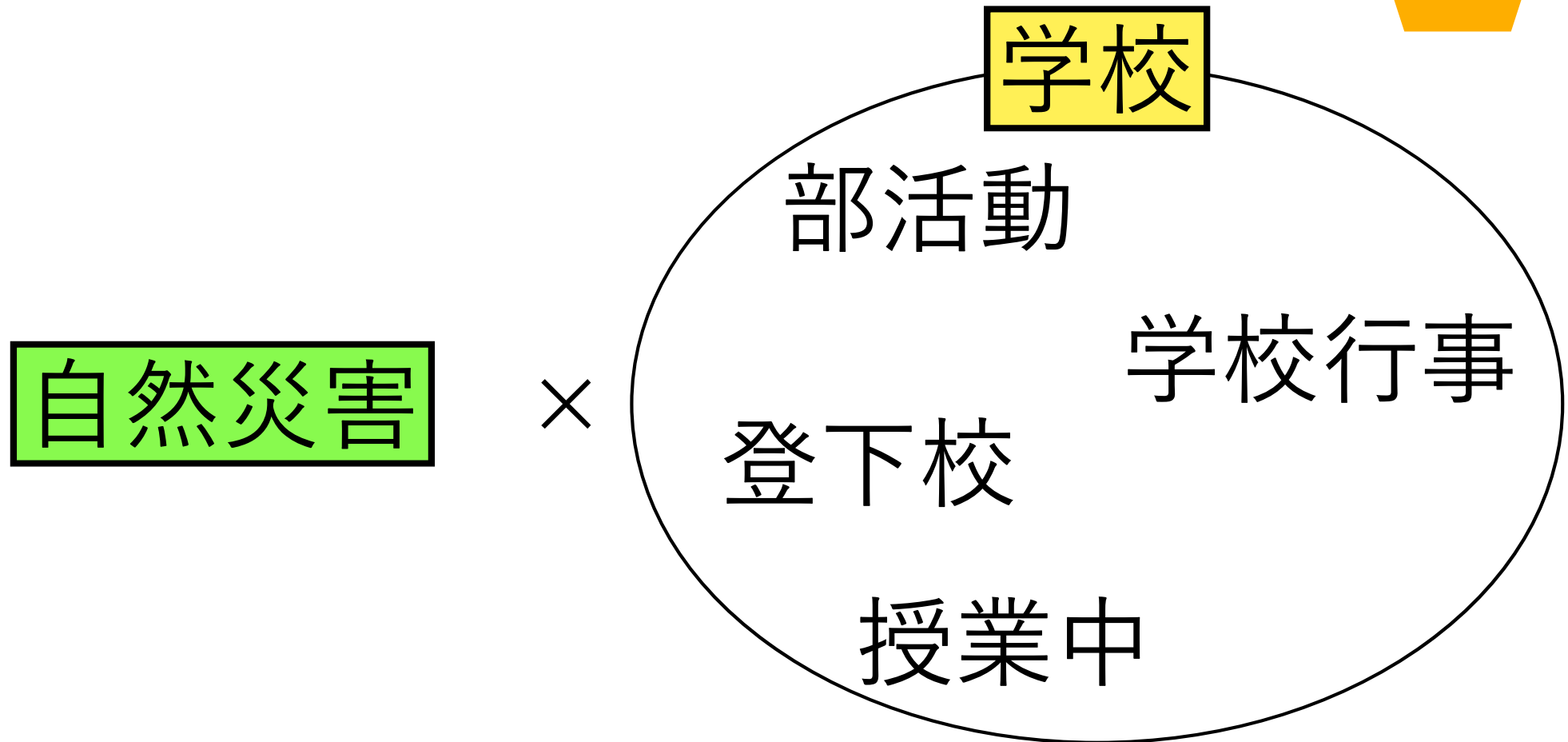
ドライブレコーダー映像

午後4時36分

DRC-32M
2024/01/01 16:36:23 0 KM/H
N 37°19'42.7" E 137°15'40.0"

早くして!





考えられる
= 事故 (例 :)

事前避難



災害発生



事後避難



被害が出る前

被害が出た後

水害

地震

津波

(1) 予測災害・・ 気象・火山・津波

(2) 突発災害・・ 地震・(火山)

大分県内で発生した洪水・土砂災害



マイ・タイムライン学習動画（簡略 2分11秒）

動画 2 「被災経験者から学ぶ、早めの避難の大切さ」 <https://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/mytimeline-movie.html>

雨はいつから水害になるか判断が難しい

雨



災害



行動を決める際の判断は何を参考に？

ハザードマップの例



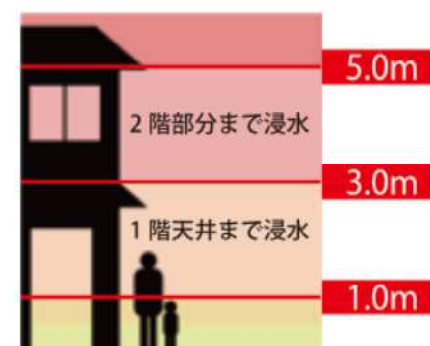
※このマップは説明用のイメージです。ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

凡例

水害

洪水浸水想定区域（浸水深）



土砂災害

土砂災害警戒区域

土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域

建造物に損壊が生じ、住民などの生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域



停電対応



スターリンク (宇宙インターネットサービス)

おおいた防災アプリの機能

- ・マイ・タイムライン作成機能
- ・各種ハザードマップ
- ・道路や河川のライブカメラ映像
- ・周辺の避難所検索 など
- ・家族グループ機能
- ・気象警報や避難情報



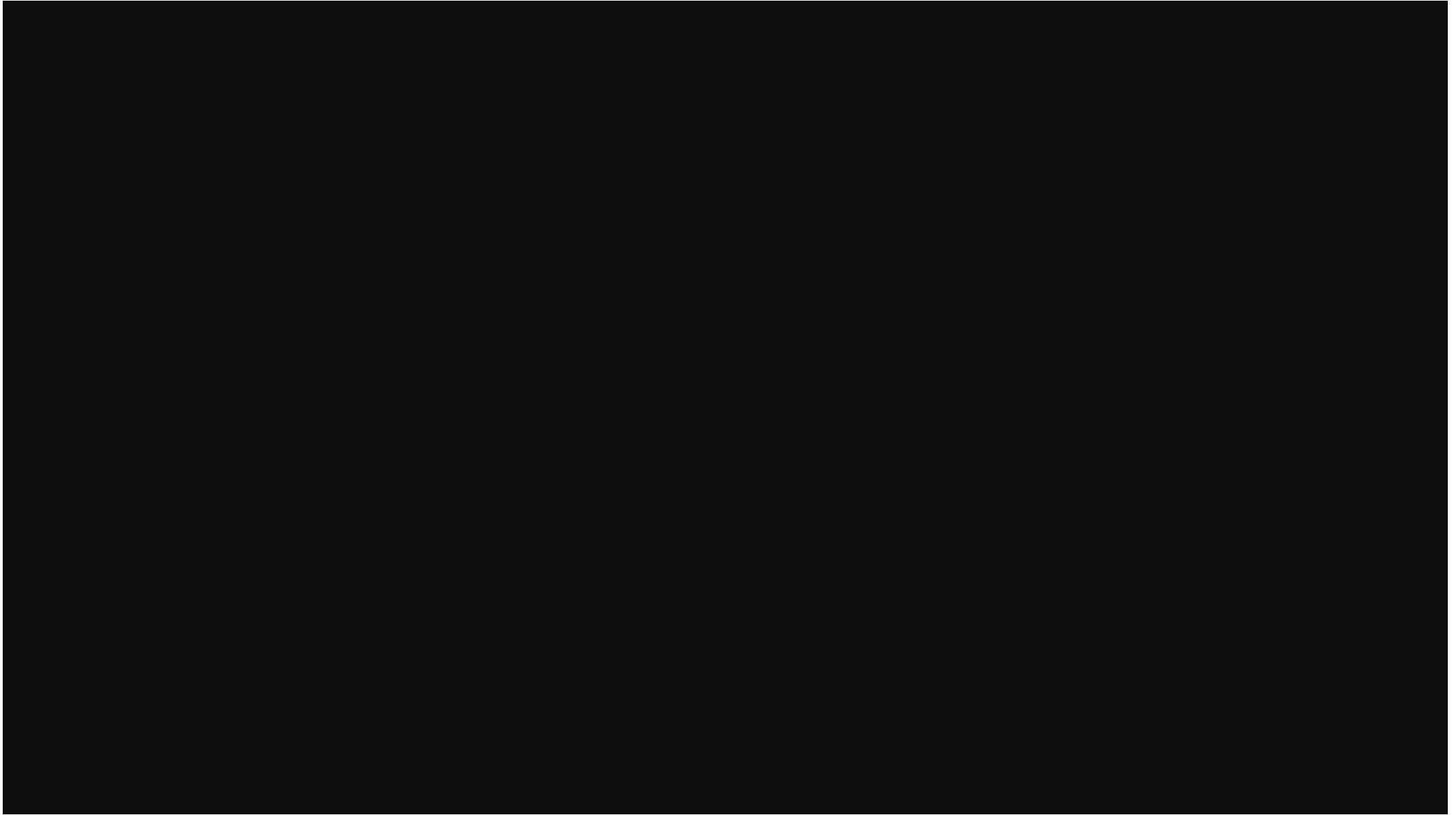
おおいた防災アプリ

	警戒レベル	状 況	避難情報等	とるべき行動
災害発生	レベル 5	災害発生 又は切迫	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
危 険	レベル 4	災害の おそれ高い	避難指示	危険な場所から 全員避難
警 戒	レベル 3	災害の おそれあり	高齢者等避難	危険な場所から避難に 時間がかかる人と支援 者は避難
注 意	レベル 2	気象状況 悪化	大雨・洪水・ 高潮注意報	情報収集を開始する 避難に備えて、自分の 避難行動を確認する
留 意	レベル 1	今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報	

市町村が発令

気象庁が発表

動画3 「あなたはいつ逃げる？」



<https://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/mytimeline-movie.html>



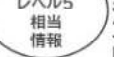
おおいたマイ・タイムライン

開校中の行動計画

10分⁽¹⁾

警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)

※警戒レベルと警戒レベル相当情報は、必ずしもタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意

警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化のおそれあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況が悪化	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害のおそれあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害のおそれが高まっている	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫
— 	氾濫注意情報 	警戒レベル3相当情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報 	警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報 高潮警報 	警戒レベル5相当情報 大雨特別警報 氾濫発生情報 高潮氾濫発生情報 

警戒レベルに応じたあなたの行動

災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
				全員避難完了！ ⚠️ 自宅内の安全な場所へ避難 ⚠️ 2階以上に避難

日頃から調べておくこと、備えておくこと

わが家の災害リスク・避難先	非常持出品	情報収集ツール
☐ 浸水する深さ 想定 () m ☐ 近隣河川までの距離 () m ☐ 土砂災害警戒区域に入っている・いない ☐ 避難先① () まで、徒歩・車で () 分 ☐ 避難先② () まで、徒歩・車で () 分 ※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上) ☐ 避難先までの危険な場所・特徴 ()	☐ 食料品 ☐ 飲料水 ☐ 貴重品 ☐ 着替え ☐ 懐中電灯 ☐ 毛布 ☐ 携帯電話の充電器 ☐ 電池 ☐ マスク ☐ アルコール消毒液 ☐ 体温計 ☐ ハザードマップ ※忘れてませんか？ ☐ 常備薬 ☐ お薬手帳 ↓その他に準備する物も書いておこう！	☐ おおいた防災アプリ ☐ 県民安全・安心メール ☐ 市町村防災メール ☐ テレビ ☐ 防災ラジオ ☐ ☐ ☐

警戒レベルと状況(登下校・開校中・校外活動中)に応じて

- ・管理職
- ・普通学級担任
- ・幼児、児童、生徒

の行動を確認しておきましょう。

事後対策

1 引き渡しの判断

引き渡しの判断時には、児童生徒等の安全を最優先にするため以下のような点に注意が必要です。

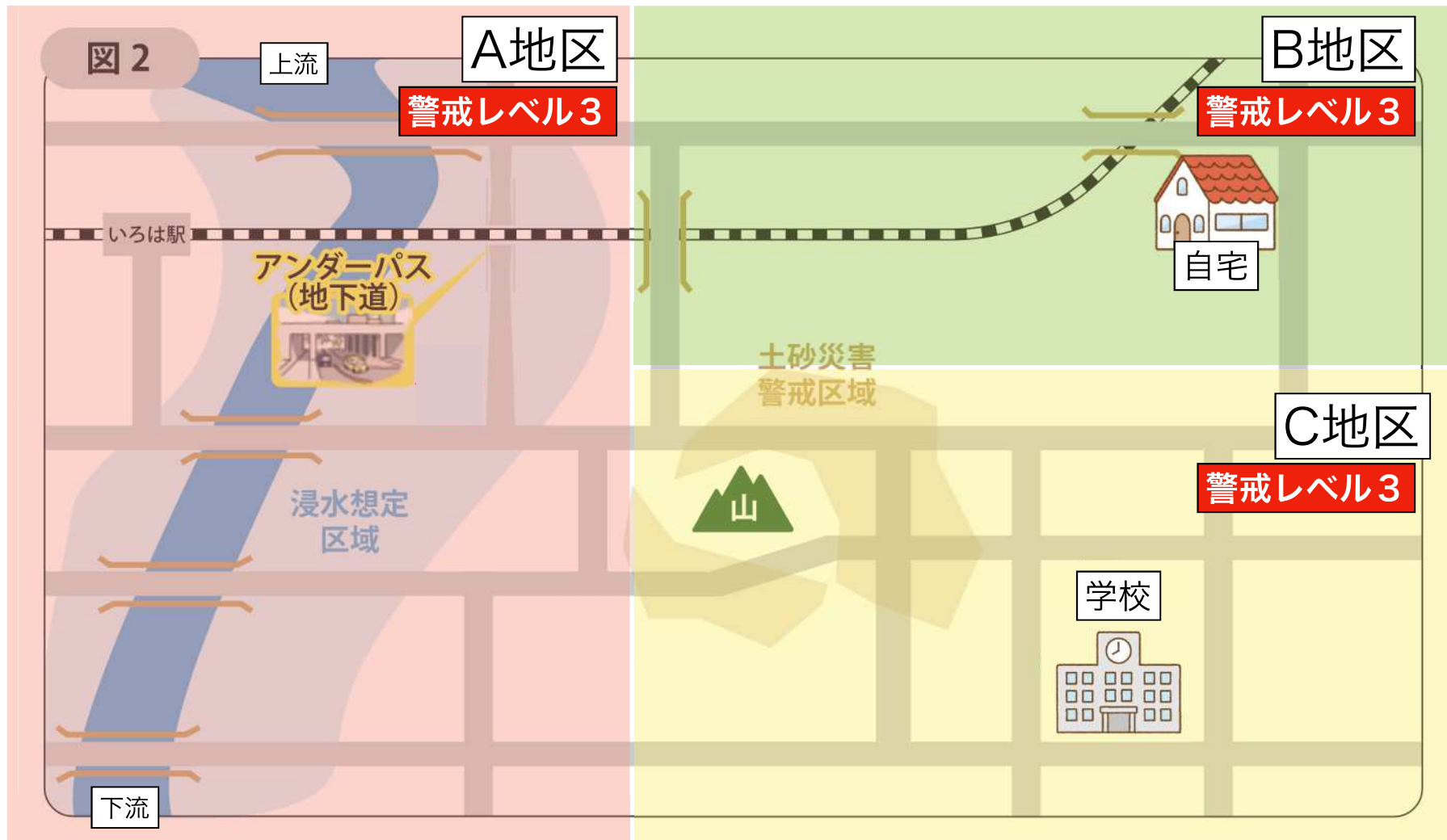
- 津波など限られた時間での対応が迫られる場合には、保護者に対しても災害に関する情報を提供し、児童生徒等を引き渡さず、保護者と共に学校に留まることや避難行動を促すなどの対応も必要です。
- 家庭の状況により、保護者等の帰宅が困難になるような家庭の児童生徒等については、学校に留めるなどの事前の協議・確認が必要です。
- 校外活動中、登下校中の対応についても同様に事前の協議・確認が必要です。

引き渡しのルール(例)

学校を含む地域の震度	震度5弱以上	保護者が引き取りに来るまで学校に待機させる。この場合、時間がかかっても保護者が引き取りに来るまでは、児童生徒等を学校で保護しておく。
	震度4以下	原則として下校させる。交通機関に混乱が生じて、保護者が帰宅困難になることが予想される場合、事前に保護者からの届けがある児童生徒等については学校で待機させ、保護者の引き取りを待つ。
※上記はあくまでも例であり、学校周辺の交通事情等の環境によって十分検討し設定する必要があります。		

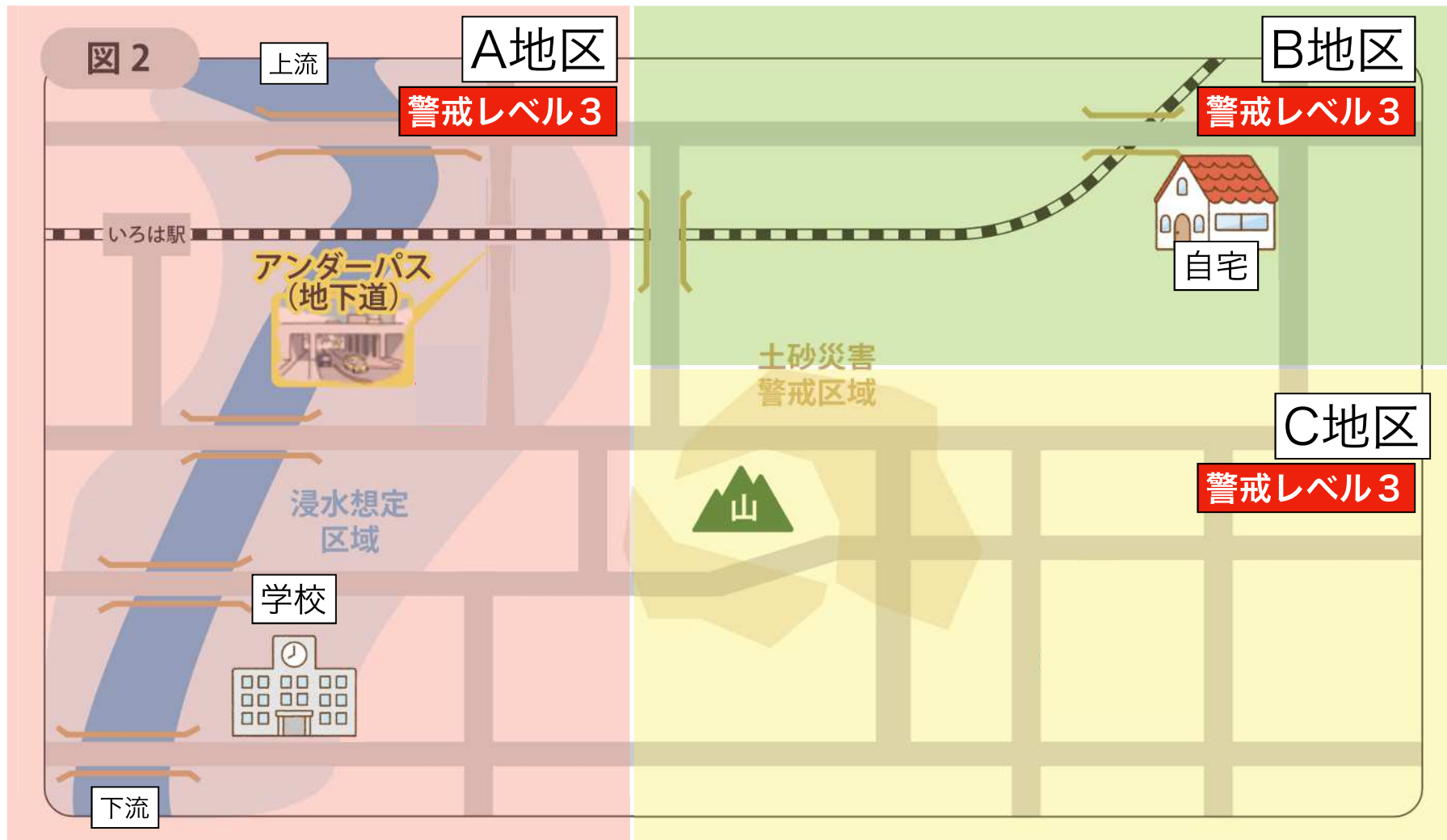
出典：文科省 学校防災マニュアル作成の手引き

開校中、豪雨災害の危険性が高まった。
自宅に帰す？（YES or NO）



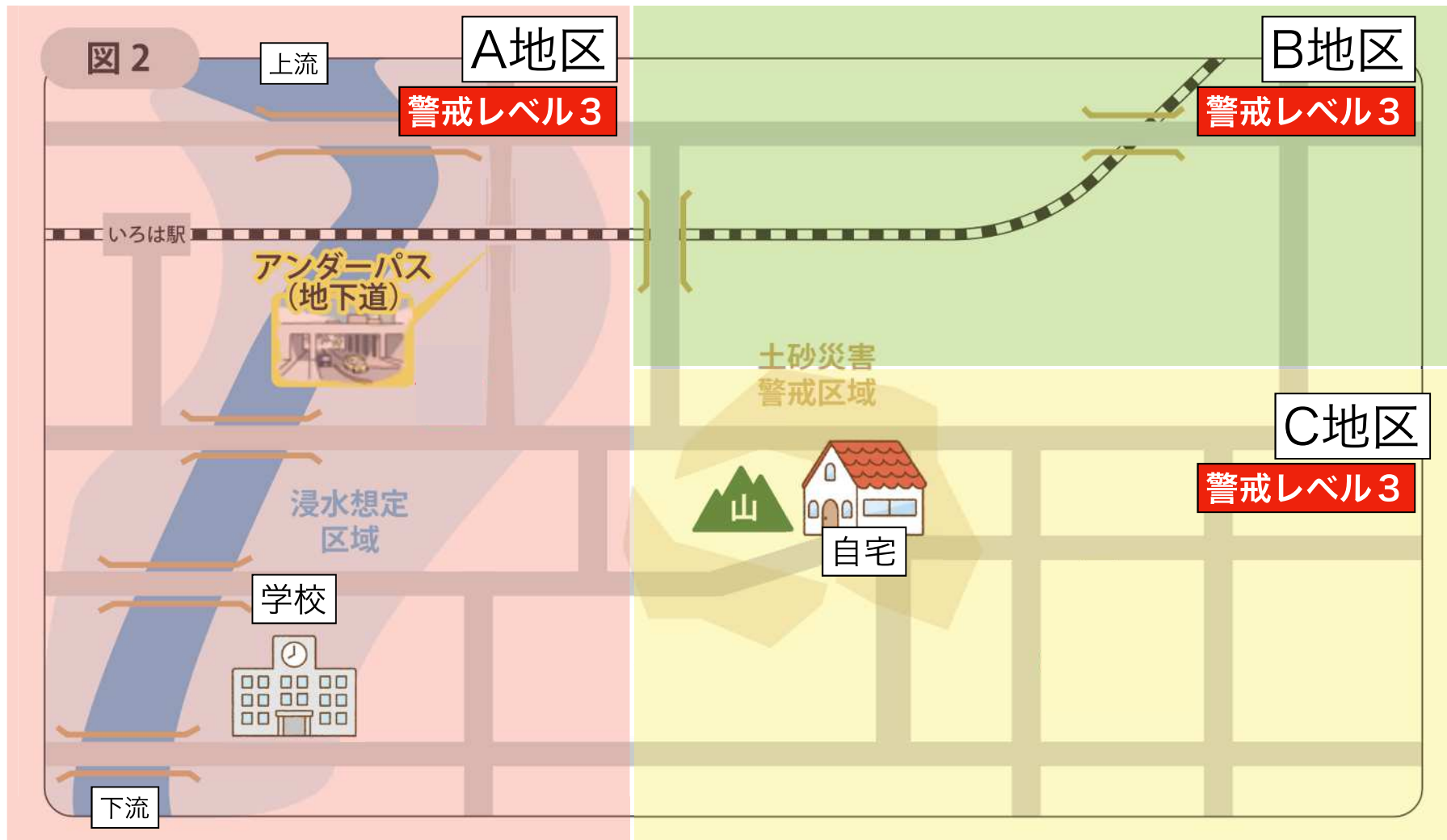
※警戒レベル及びハザードを理解度を上げる研修問題のため実際と異なる場合があります。

開校中、豪雨災害の危険性が高まった。
自宅に帰す？（YES or NO）



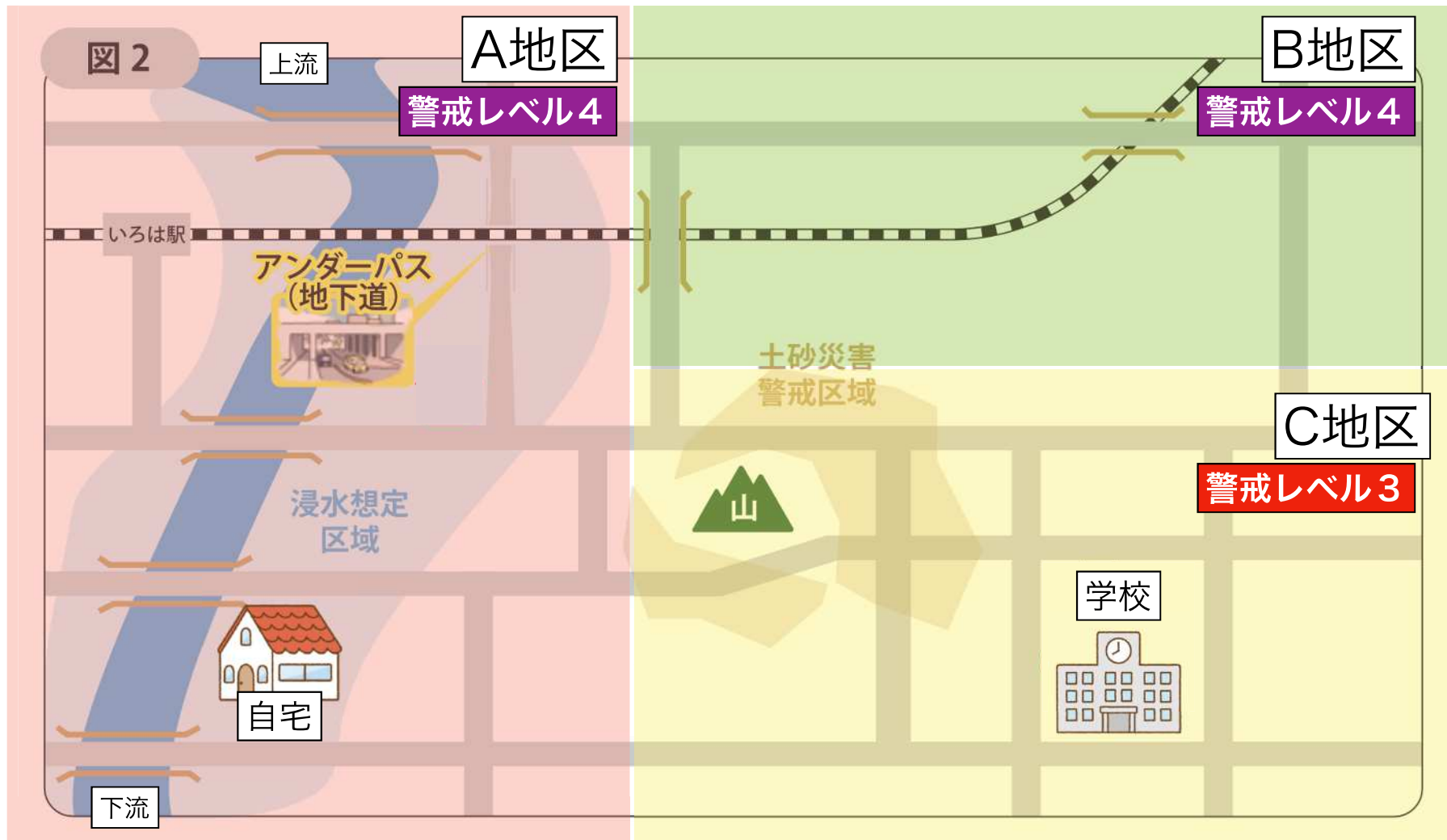
※警戒レベル及びハザードを理解度を上げる研修問題のため実際と異なる場合があります。

開校中、豪雨災害の危険性が高まった。
自宅に帰す？（YES or NO）



※警戒レベル及びハザードを理解度を上げる研修問題のため実際と異なる場合があります。

開校中、豪雨災害の危険性が高まった。
自宅に帰す？（YES or NO）



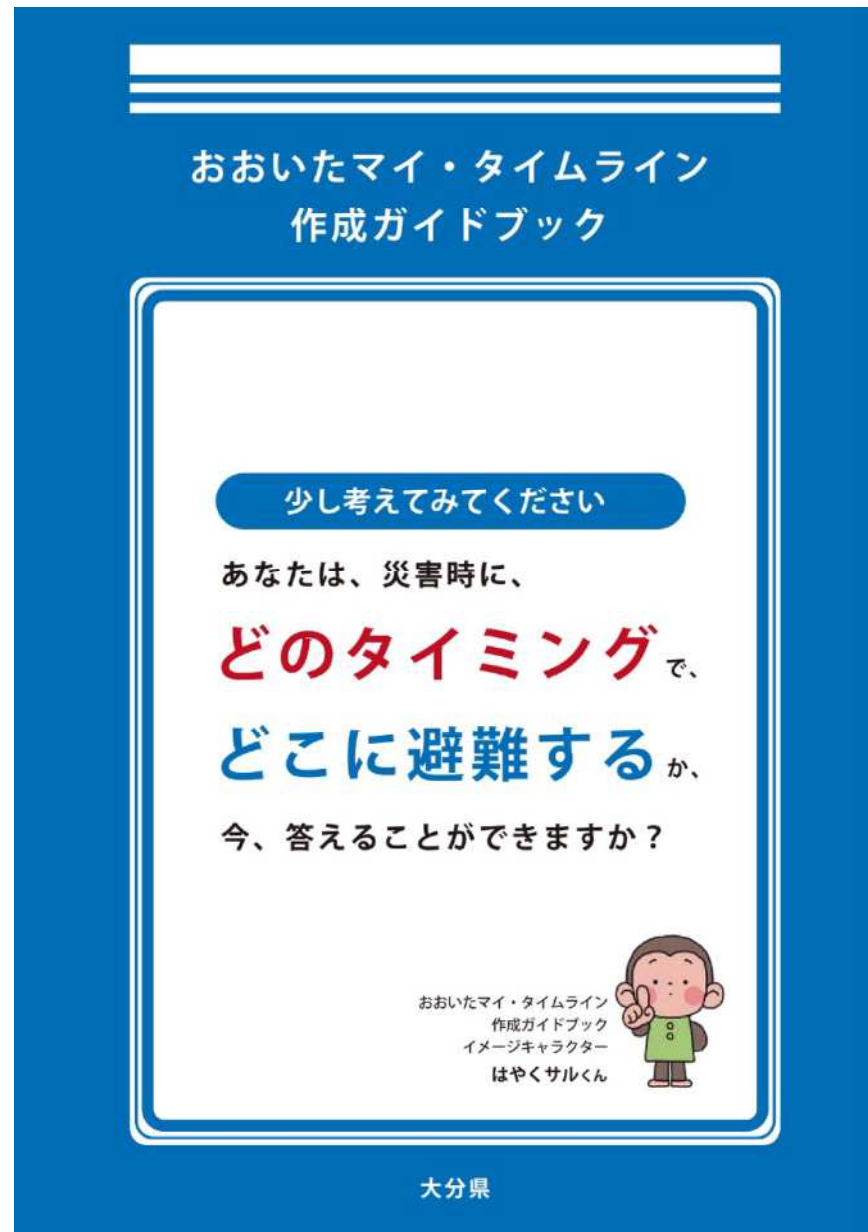
※警戒レベル及びハザードを理解度を上げる研修問題のため実際と異なる場合があります。

警戒レベル該当地域毎での対応の変化

豪雨災害					
警戒レベル					
5 4 3	事務所開所時間		事務所開所時間外		
	避難情報		避難情報		
	事務所該当地域	スタッフ居住 該当地域	事務所該当地域	スタッフ居住地 該当地域	
	事務所閉所準備	避難検討	事務所 開所検討	出勤検討	
	避難検討	避難先の共有		避難先の共有	
	避難先の共有				
	事務所閉所	避難	事務所閉鎖	出勤停止	
避難	避難先の共有		安否確認		
避難先の共有			避難先の共有		
事務所閉鎖	避難	事務所閉鎖			
避難 (事務所 2 F)					

※上記の連絡は原則、スラック「#10-緊急連絡-災害」で共有すること。

一人一人の意識を高めるためにマイ・タイムラインの作成を



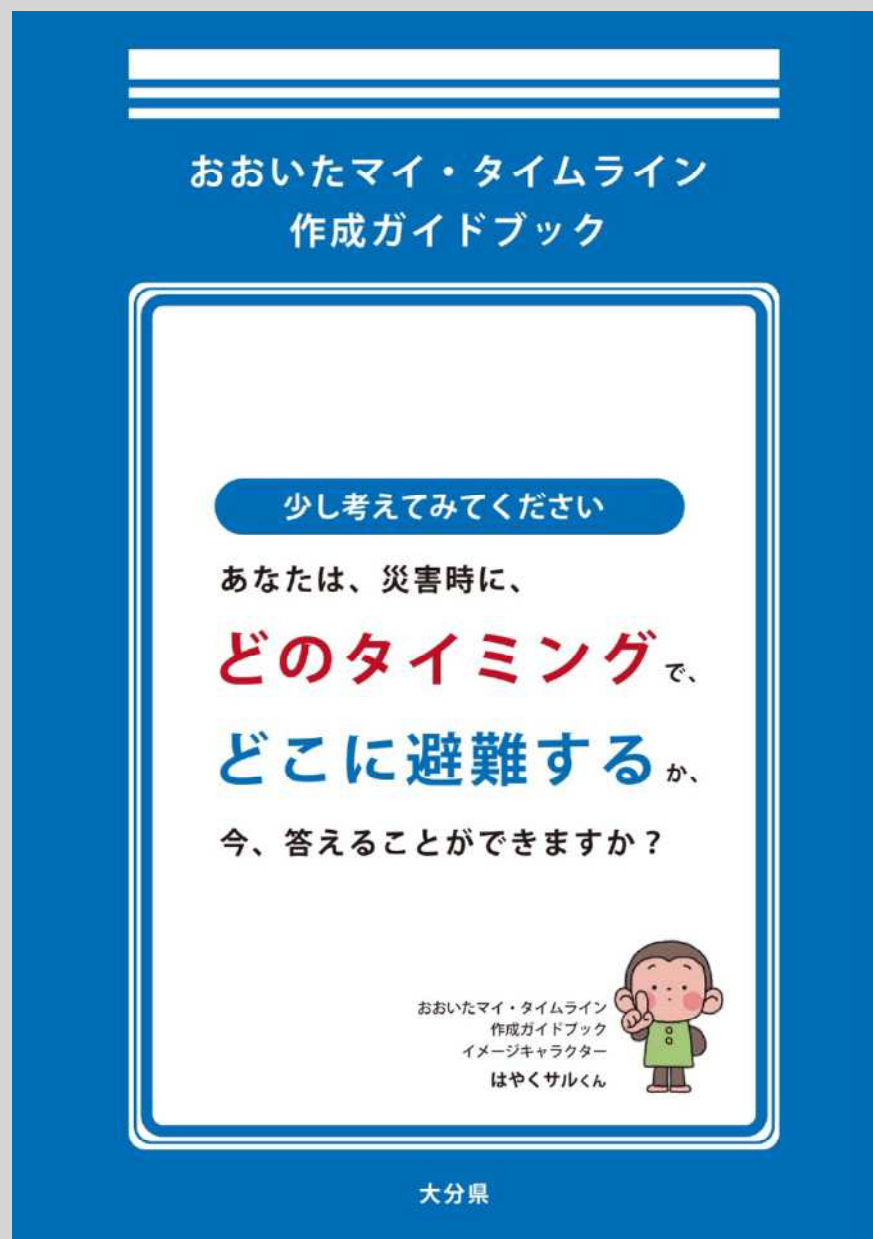


マイ・タイムライン学習動画（5分40秒）

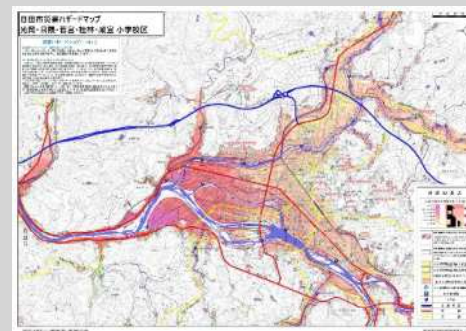
動画1 「マイ・タイムラインを作るのはなぜ？」 <https://www.pref.oita.jp/site/bosaiportal/mytimeline-movie.html>

タイムラインを作る際に準備するもの

(1) ガイドブック



(2) ハザードマップ（土砂・洪水）



(3) マイ・タイムライン様式

(4) マイ・タイムライン 記載例

※上記の4点に加えて、筆記用具をご準備ください。

< 事前 >

警戒レベルに応じて行動を整理しておく

< 事後 >

災害はマニュアル通りに起こらないため、訓練内容を再確認しましょう。

児童・生徒にもマイ・タイムラインの普及と啓発を。